

# JR西日本ラグビー部『レイラズ』が ラグビークリニックを開催しました

6月12日（日）、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場にて、JR西日本ラグビー部『レイラズ』が、ラグビークリニック（ラグビー教室）を開催しました。

このクリニックは兵庫県ラグビー協会からの依頼を受け『第44回フェニックスラグビーフェスティバル』の一環として、兵庫県下のラグビースクールに通う小学校高学年、約250名を対象に開催したイベントです。



▲熱心に指導するレイラズの選手

今回のテーマは『タックル』。ラグビーにおいて、最も高い技術と勇気のいるプレーを指導するのは、高いコーチングスキルが必要であり、更に今まで経験したことのない大勢の参加者という事もあり、序盤はレイラズの選手にも戸惑いがありました。一緒に泥んこになり、熱心に指導していると、練習終盤には鋭いタックルを決める参加者も見かけられ、『タックルが好きになった』『教えてもらった事をスクールの練習でもやってみたい』と言った声があがり、レイラズにとっても良い経験となりました。



▲体の大きさの違いにも臆せずタックルを決めます

また、クリニック終了後には、鉄道についての安全啓発活動も行いました。今回は、「もし、踏切で異常を見つけたら？」というテーマに踏切非常ボタンの使い方について、説明を行いました。



▲踏切非常ボタンにも興味津々です。

普段は駅や乗務員等で、勤務しているレイラズの選手達、こちらの指導においても熱が入り、大盛況のうちに幕を閉じました。

今後とも仕事とラグビーを両立し、公式リーグ戦での勝利と「レイラズにしか出来ない」取り組みを推進してまいりますので、応援の程、よろしくお願いいたします。

